

**生活総合情報メディア【ヨムーノ】、
「新生活」に関する最新の意識調査を実施
約2人に1人が4月から生活の変化を実感！80%以上が「不安」**

子どもがいる20～59歳の既婚女性147名に実施したアンケートでは、今年の4月から生活の変化を実感する方が半数以上おり、「子どもの進級・進学」に伴い、不安を感じつつ準備に取り組んでいることが分かりました。



「ベビーカレンダー」が運営する生活総合情報メディア「ヨムーノ」は、「ヨムーノメイト(※1)」を中心とした、子どもがいる20～59歳の既婚女性147名を対象に「新生活」に関するアンケート調査を2025年3月に実施しました。

【調査サマリー】

- 1) 約2人に1人が今年の4月から「生活の変化」を実感
- 2) 具体的な”生活の変化”は、「子どもの進級」が28.0%でトップ！
- 3) 4月からの生活に向けて、9割以上が「準備」を意識
- 4) 新生活の予算は約3割が「1万未満」。一方、10万以上の高価格帯も約3割
- 5) 80%以上が子どもの進学・新生活に「不安」を経験
- 6) 「子どもの友人関係」が不安のトップに！約2人に1人が交友関係を心配
- 7) 子どもの進級・進学で就労環境を変えた方は約4割！最多は時短勤務(15.6%)

調査概要

調査名：新生活に関するアンケート

調査手法：インターネットによるアンケート調査

調査期間：2025年3月3日～3月13日

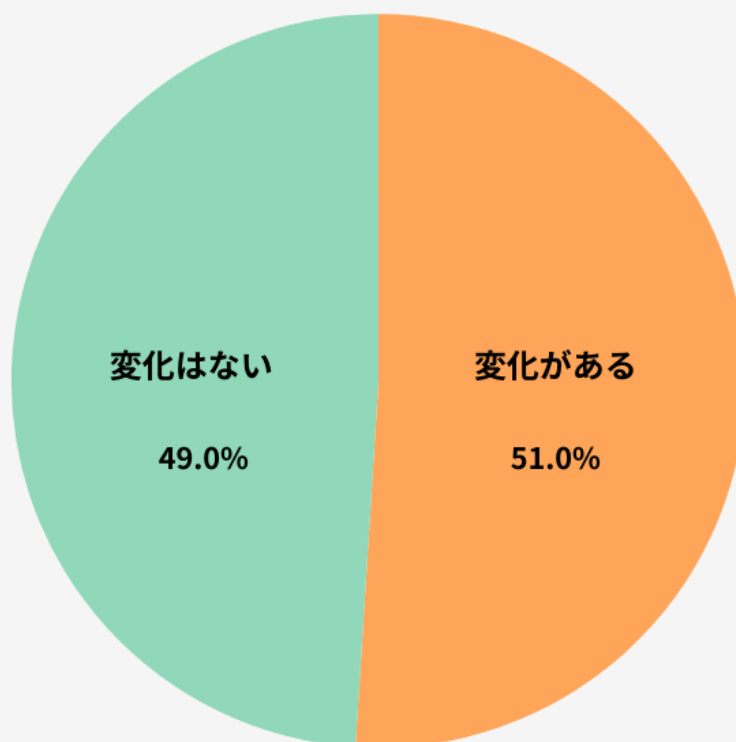
調査対象：「ヨムーノメイト(ヨムーノ公式インスタグラマー)」を中心とした、子どもがいる20～59歳の既婚既婚女性147名

※1.ヨムーノメイトとは

編集部がスカウトした「くらし全方位ジャンルのマニア」によるインスタグラマー組織

- 1) 約2人に1人が今年の4月から「生活の変化」を実感

Q1 ご自身やご家族の方に、今年の4月から生活の変化はありますか？



ヨメノ

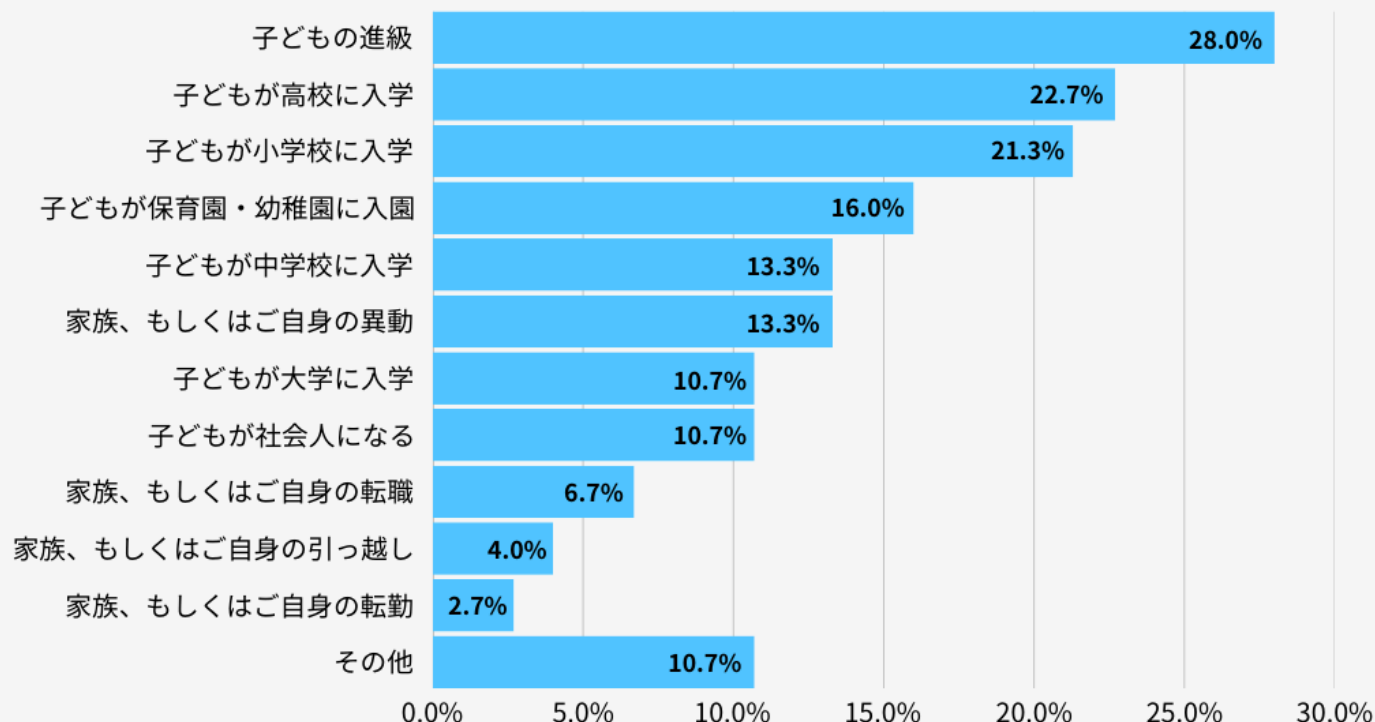
Q1 ご自身やご家族の方に、今年の4月から生活の変化はありますか？ (n=147)

「変化がある」と回答した方は51.0%で、「変化はない」と回答した方(49.0%)をわずかに上回りました。この結果から、約半数の方が4月からの生活が変化することが分かります。

2) 具体的な”生活の変化”は、「子どもの進級」が28.0%でトップ！

Q2 具体的に、どのような変化がありますか？当てはまる選択肢を、すべてお選びください。（複数回答）

※Q1で「変化がある」と回答した方に聞きました。



ヨメノ

Q2 具体的に、どのような変化がありますか？当てはまる選択肢を、すべてお選びください。（複数回答）

(n=75)

今年の4月から「生活に変化がある」と回答した方に具体的な変化を聞いたところ、最も多かったのは「子どもの進級」(28.0%)でした。

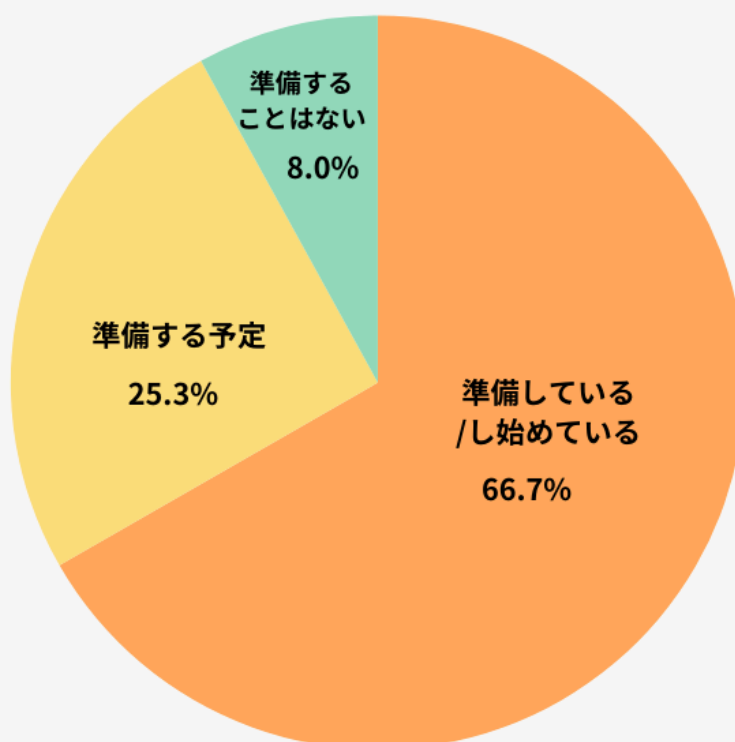
次いで、「子どもが高校に入学」(22.7%)、「子どもが小学校に入学」(21.3%)、「子どもが保育園・幼稚園に入園」(16.0%)が続き、子どもの成長に伴うライフステージの変化が主な要因となっていることが明らかになりました。

また、家族、もしくはご自身の「異動」(13.3%)や「転職」(6.7%)、「引っ越し」(4.0%)、「転勤」(2.7%)といった仕事や住環境の変化も一定数見られました。

3)4月からの生活に向けて「9割以上」が準備を意識

Q3 4月からの変化に向けて、準備していることはありますか？

※Q1で「変化がある」と回答した方に聞きました。



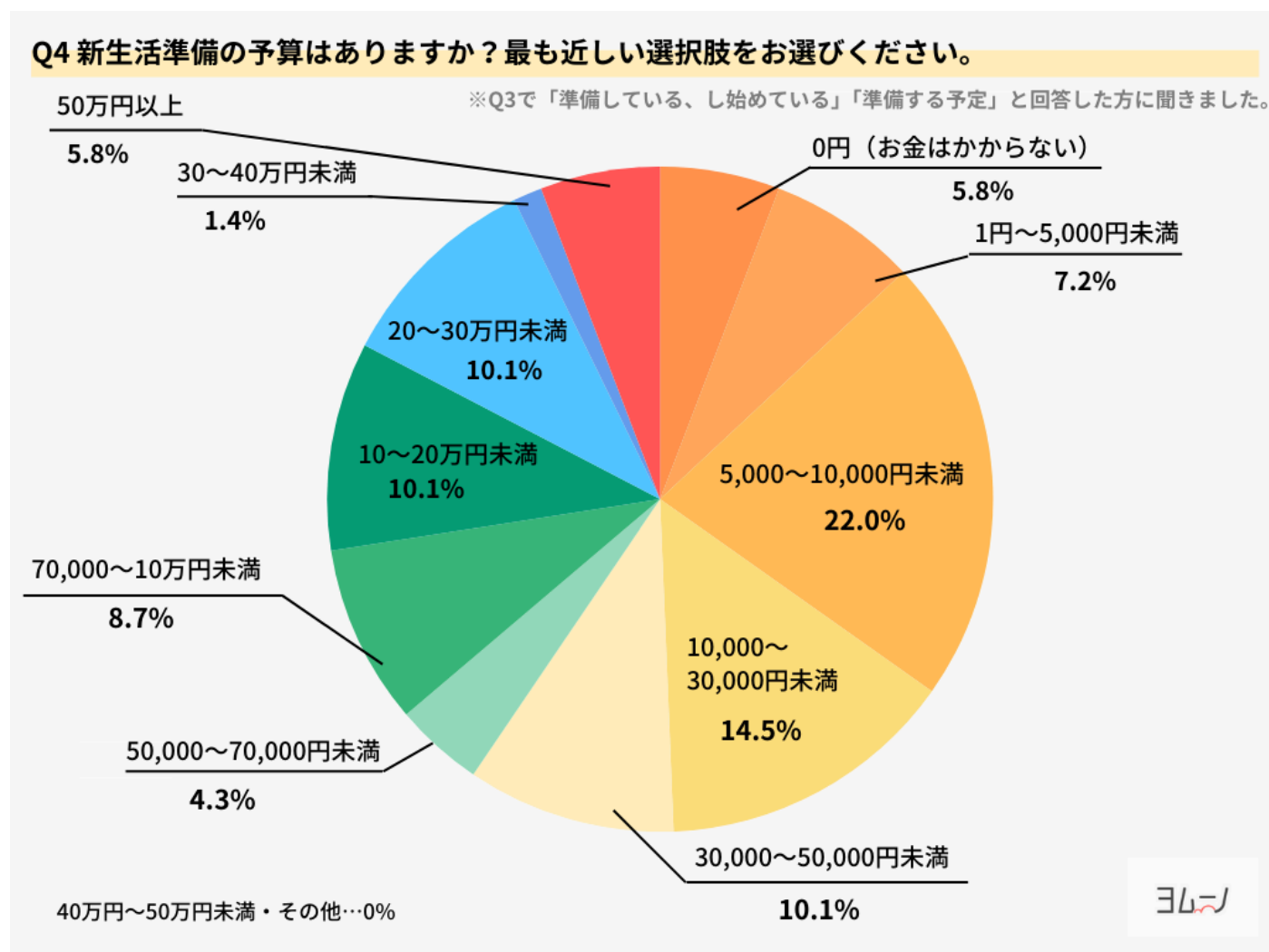
ヨメノ

Q3 4月からの変化に向けて、準備していることはありますか？ (n=75)

「生活に変化がある」と回答した方に「準備していることはあるか」聞いたところ、「準備している／し始めている」と回答した方は66.7%にのびりました。

また、「準備する予定」と回答した方は25.3%で、合計すると約9割以上の方が何らかの準備を進めているか、今後行う予定であることが分かります。

4)新生活の予算は約3割が「1万未満」。一方、10万以上の高価格帯も約3割



Q4 新生活準備の予算はありますか？最も近い選択肢をお選びください。(n=69)

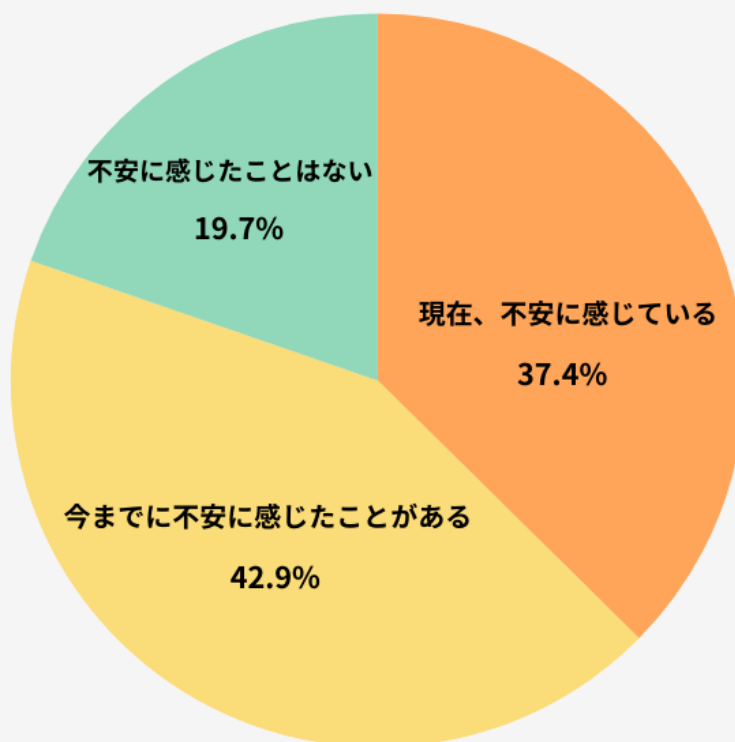
4月からの変化に向けて「準備している、し始めている」「準備する予定」と回答した方に、「新生活準備の予算」について聞きました。

最も多かったのは「5,000~10,000円未満」(22.0%)で、次いで「10,000~30,000円未満」(14.5%)、「30,000~50,000円未満」(10.1%)と続きました。合計すると約3割の方が1万未満、また半数近くの方が3万未満の予算を設定していることがわかります。

一方で、10万以上の高予算層は全体の約30%に上り、一定数の家庭が比較的大きな支出を予定していることも明らかになりました。新生活に向けて、まとまった出費を考えている家庭も少なくないようです。

5)80%以上が子どもの進学・新生活に「不安」を経験

Q5 今まで、子どもの進学・進級や新生活、生活環境の変化について、不安に感じたことはありますか？



ヨメノ

Q5 今まで、子どもの進学・進級や新生活、生活環境の変化について、不安に感じたことはありますか？

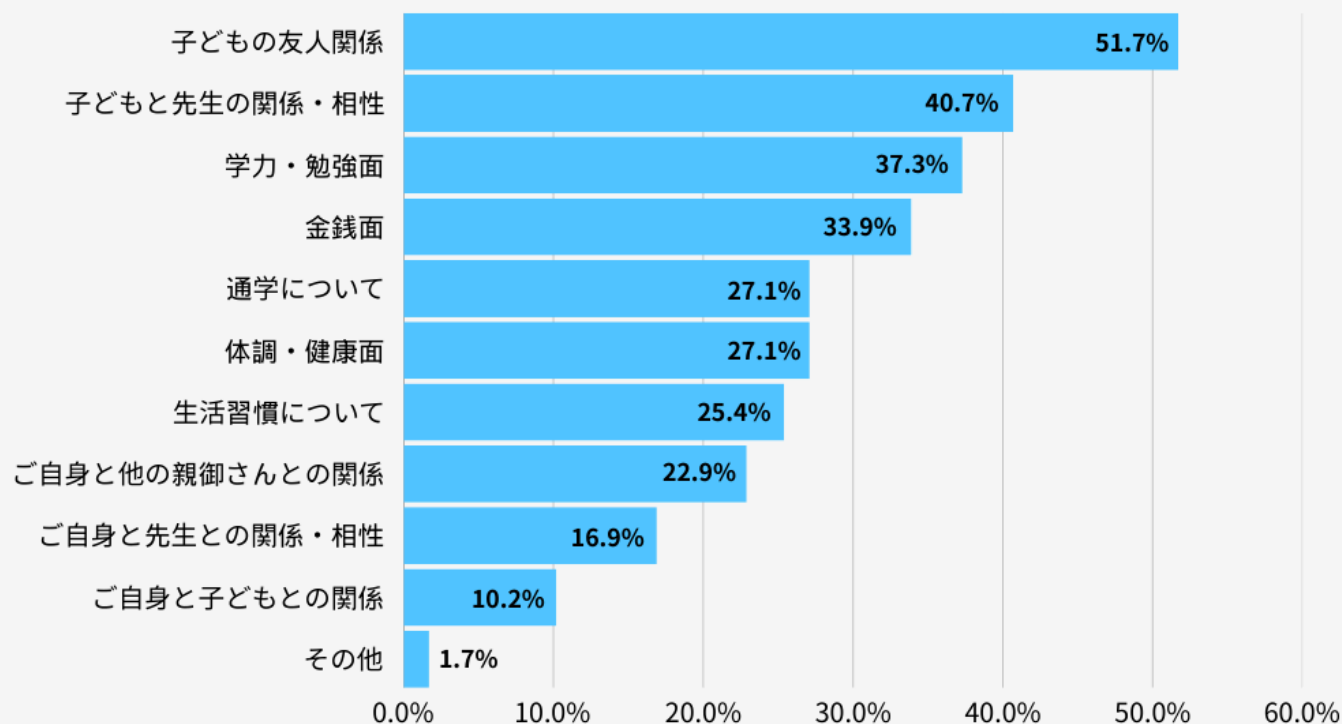
(n=147)

「現在、不安に感じている」と回答した方は37.4%にのぼりました。また、「今までに不安に感じたことがある」と回答した方は42.9%で、過去も含めると8割以上の方が何らかの不安を抱えた経験があることが分かります。

6)「子どもの友人関係」が不安のトップに！約2人に1人が交友関係を心配

Q6 実際に、子どもの生活環境の変化について、どのようなことに不安を感じる、もしくは不安を感じたことがありますか？当てはまる選択肢をすべてお選びください。（複数回答）

※Q5で「現在、不安に感じている」「今までに不安を感じたことがある」と回答した方に聞きました。



エム

Q6 実際に、子どもの生活環境の変化について、どのようなことに不安を感じる、もしくは不安を感じたことがありますか？当てはまる選択肢をすべてお選びください。（複数回答）（n=118）

子どもの進学・新生活に「現在、不安に感じている」「今までに不安を感じたことがある」と回答した方に、「どのようなことに不安を感じるか」聞いたところ、最も多かったのは「子どもの友人関係」（51.7%）でした。

「子どもの友人関係」を不安に感じる/感じた理由について具体的に聞くと、このような声があがりました。

- ・いろんな学校の子が集まって、仲の良かった子と離れてしまうから。（29歳）
- ・大人しい子なのでうまくやっていけるか不安です。（27歳）
- ・高学年になり、宿泊を伴う行事や委員会活動などが増え、人間関係が心配です。（45歳）

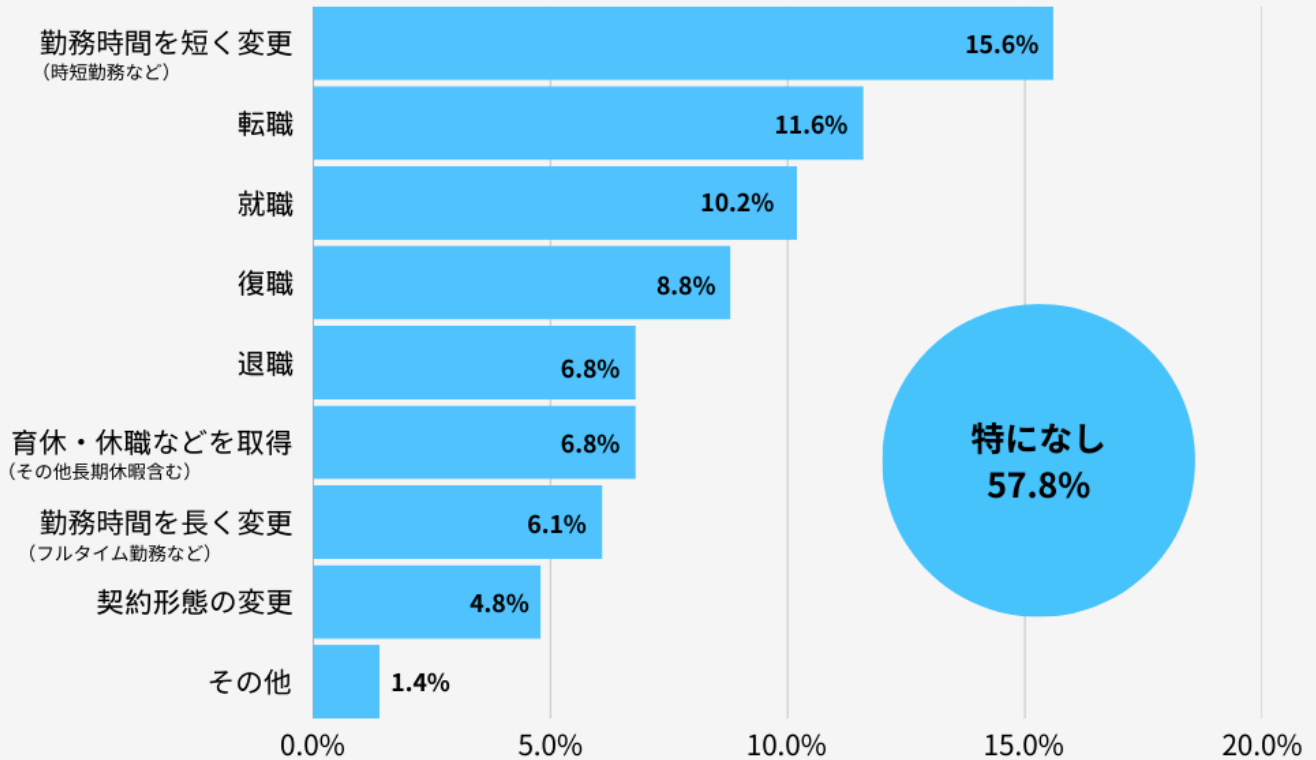
・長男が入学する際は、1人目ということもあって小学校についての情報が乏しく、全てが不安でした。(37歳)

環境の変化による友人との別れや新しい人間関係への適応を懸念する声が多く、特に大人しい性格の子どもや、高学年への進級といった対人関係が複雑化するタイミングでの不安が目立ちました。

次いで、「子どもと先生の関係・相性」(40.7%)、「学力・勉強面」(37.3%)、「金銭面」(33.9%)と続き、学校生活や学習環境、経済的な側面への不安を抱く方が多いことがうかがえます。

7)子どもの進級・進学で就労環境を変えた方は約4割！最多は時短勤務(15.6%)

Q7 お子様の進級・進学に合わせて、ご自身の就労環境を変えたこと（もしくは、変える予定）はありますか？当てはまる選択肢をすべてお選びください。（複数回答）



ヨムニ

Q7 お子様の進級・進学に合わせて、ご自身の就労環境を変えたこと（もしくは、変える予定）はありますか？当てはまる
選択肢をすべてお選びください。（複数回答）(n=147)

「特になし」と回答した方が57.8%と過半数を占める一方で、就労環境を変えた経験がある人の中では「勤務時間を短く
変更（時短勤務など）」と回答した方が15.6%で最も多く、次いで、「転職」（11.6%）、「就職」（10.2%）、「復職」（8.8%）と
続きました。

また、「退職」（6.8%）や「育休・休職の取得」（6.8%）、「勤務時間を長く変更（フルタイム勤務など）」（6.1%）といった回答
も一定数ありました。

子どもの進級・進学に際して、約4割の方は何らかの形で働き方を変えている、または変える予定があることが分かります。

<本リリースに関してヨムーノの記事でもご紹介中！>

<https://yomuno.jp/posts/123491>

<「ヨムーノ」メディアに関して>

『ヨムーノ』(<https://yomuno.jp/>) は、忙しくても「くらしをもっと楽しく賢く！」をコンセプトに、人気のショッピング情報やグルメ、ファッション、ビューティ、インテリア・収納、節約・マネー等、くらし全方位の「すぐ実践できるトレンド情報」を発信しています。

<「ベビーカレンダー」メディアに関して>

『ベビーカレンダー』は、月間PV数3.1億PV、会員登録数が年間約36万人、総勢約40名の医師・専門家が監修する妊娠・出産・育児の情報を網羅した日本最大(※)の育児支援メディアです。妊娠してから赤ちゃんが2歳になるまでの間、赤ちゃんの成長に合わせ、元雑誌編集経験者を中心とした20名以上の編集者が質の高い記事を毎日提供します。

※2024年11月時点において各メディア(当社選定競合メディア4社)が発表している月間PV数(当社調べ)において

ニュースリリースはこちら▶<https://baby-calendar.jp/smilenews/release>

<運営会社「ベビーカレンダー」に関して>

社名: 株式会社ベビーカレンダー (<https://corp.baby-calendar.jp>) ※2021年3月25日 東証マザーズ上場

本社所在地: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤタビルディング10F

代表者: 代表取締役 安田啓司

設立年月日: 1991年4月

主要事業: メディア事業、医療法人向け事業

多くの医療専門家監修による、日本最大のPV数を誇る育児支援メディア「ベビーカレンダー」を運営。ベビーカレンダー以外にも、女性のライフスタイルにあわせた情報提供メディアを展開し、事業を拡大中。2021年に東証マザーズ上場。

<運営メディア一覧>

■ベビーカレンダー: 医師・専門家監修の妊娠・出産・育児の情報メディア

URL: <https://baby-calendar.jp/>

■ウーマンカレンダー: オトナ女子によるオトナ女子のためのアンチエイジングメディア

URL: <https://woman-calendar.jp/>

■ムーンカレンダー: 生理・恋愛・美容 女性たちのリアルがわかるメディア

URL: <https://moon-calendar.jp/>

■シニアカレンダー: シニア情報メディア

URL: <https://kaigo-calendar.jp/>

■シツテク: 恋愛・結婚 & マッチングアプリ紹介メディア

URL: <https://moon-calendar.jp/sitteku/>

■赤ちゃんの名づけ・名前ランキング: 赤ちゃんの名前、よみのランキング検索メディア

URL: <https://baby-calendar.jp/nazuke/>

■ヨムーノ: 忙しくても「くらしをもっと楽しく賢く！」くらし情報メディア

URL: <https://yomuno.jp/>

<公式SNSからも最新情報更新中！>

Instagram: <https://www.instagram.com/babycalendar/>YouTube: <https://www.youtube.com/channel/UCFblSCmHFCkHiFXsrcksuHA>Facebook: <https://www.facebook.com/babycalendar/>Twitter: https://twitter.com/baby_calendarTikTok: https://www.tiktok.com/@babycalendar_official**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社ベビーカレンダー ヨムーノ編集部 担当: 西澤

TEL: 03-6631-3600 FAX: 03-6631-3601 MAIL: yomuno-info@baby-calendar.jp

※本調査内容をご使用いただく際は、出典の記載をお願い申し上げます。また、画像データ等の改変はご遠慮ください。